

平成28年 市職員への年頭訓示

みなさん、新年あけましておめでとうございます。

新しい年を、清々しい気持ちで迎えられたことと思います。

今年の干支は、「丙の申」です。

「丙」は「明らか」、「申」は「うめく」を意味し、「形が明らかになり、実が固まっていく」という意味から「これまでの頑張りが形になる年」とも言われています。

今年の干支が意味するように木津川市発足10年目を迎え、皆さんと共に、頑張ってきたものが形となる年にしたいと思っています。

さて、国を挙げた地方創生の取り組みや、生き残りをかけた人口減少対策がすべての市町村で始まりました。

木津川市におきましても、木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、スローガンを「子ども育マチ・きづがわいい」と決定したところです。

市の将来人口の推計では、戦略を講じなければ2030年の8万3千人をピークに減少し、老年人口の比率も上昇していきます。

このため人口減少の対策として6つの基本目標を定め、これらの実現に向けて、組織機構を見直し、4月からは、より効率的な組織体制で、各種施策に取り組み、将来目標人口の8万5千人を実現して、まちの活性化を図りたいと考えています。

次に、この1月からマイナンバー制度に伴います「個人番号カード」の交付が開始され、マイナンバーの利用が始まります。

皆さんもご存じのとおりマイナンバー制度の導入に伴い個人情報の取り扱いに社会的な関心が高まっています。

昨年11月には、全職員を対象に情報セキュリティの研修を実施したところですが、職員の皆さんには、これまで以上に個人情報保護に関する意識を持っていただき、適正な個人情報の取り扱いを徹底してください。

また、来年度からいよいよ普通交付税が段階的に減額となります。

子や孫の世代に健全な財政を引き継ぐため更なる行財政改革を断行していかなければなりません。

試算ではありますが、3年後には経常収支比率が100を超えるという結果もありますので、皆さんには、経費削減に向けた一層の提案と努力をお願いいたします。

行財政改革と、まち・ひと・しごと総合戦略を並行して実行するという難しい課題ではありますが、活気のある木津川市を構築していくためにも部署の垣根を越えて、私も職員の皆さんと一丸となって取り組んでいきたいと考えています。

市民の幸せとまちの将来は皆さん一人一人の熱い思いにかかっています。

今年も心一つにしてともに精一杯がんばりましょう

結びに、今年がみなさんにとって、幸多い年でありますように、そして市の更なる飛躍を祈念いたしまして、年頭の訓示といたします。

頑張っていきましょう。

平成28年1月4日

木津川市長 河井 規子